

飯島ツーリズム戦略シンポジウム

エコツーリズムの推進について



十二月三日(日) 上記シンポジウムが、
上飯老人センターで開催されました。

里地区コミュニティ協だより

里地区
コミュニティ協議会
事務局 3-2958

午後一時に開会され、

上飯支所長の挨拶のあと、「地域振興とエコツーリズム」ーみんなのでつくる全体構想ーと題した基調講演がありました。講師は、三重県鳥羽市海鳥遊民くらぶ代表で、老舗旅館の女将でもある江崎貴久氏。鳥羽のエコツーリズム観光推進協議会の会長を務めるに至った経緯など、元気で明るい人柄で分かりやすく楽しいお話ぶりでした。その後、江崎氏を加えて、観光物産協会上飯島支店長の岸広徳氏・こしきしま親和産業の中野和子氏がパネラーになり、鹿兒島大学の星野一昭氏のコーディネートで、エコツーリズムの推進について語られました。



それぞれの自己紹介の後、現在している取り組みや自分の役割などを語り、会場からの質問や、意見発表なども、活発にかわされました。体験型のプログラムで観光客に対応する場合の保険の掛ける方。地域で、仲間を増やすときの人間関係の築き方など、今、それぞれが抱えている問題や、考えを出し合い、また、観光とはなにか？なぜ、今、観光なの



か？ 地域振興とどう結びつくのか？ 等、様々な角度から話合われました。その後、上飯地区コミュニティ協会の閉会の挨拶。自分が楽しく、自分の住む所が、素敵になっていくために頑張るという江崎貴久氏の姿勢が印象深く、有意義な会になりました。定刻をややオーバーする中で、閉会しました。

小さな拠点基礎調査ヒヤリング

十二月一日(金) 午後二時から里地区コミュニティ協議会事務所で、右記の聞き取り調査がありました。安心して暮らせる地域づくりを実現していく地域形成をめざし、地域の問題や課題の聞き取り調査をして、今後の計画策定に役立たせる目的で行なわれました。暮らしに必要な機能やサービスを、地域でどのように作り出せるのか？ さまざまな整備、組織の民主化・再編成。新しい課題への取り組み。里町全体のこうありたい、安全・安心のまちづくりを、住民の総意で、創っていかたいです。